2016
春号

百萬石
Hyakumangoku Vol.45

Published by

部長挨拶

f_dita

f_dita@mma.club.uec.ac.jp

「百萬石」をお手に取って頂きありがとうございます。弊誌 (以下、部誌) は電気通信大学の公認サークル MMA が新歓期 (春号) と弊学が開催する調布祭時期 (秋号) の年 2 回発行・頒布しているものです。MMA とは"Microcomputer Making Association"の頭文字に由来しており、1975 年に創立されたサークルです。現在では計算機に関連することを中心にネットワークやセキュリティなどの分野でも活動しています。部誌には MMA の部員が各々に行なっている活動を記事にしたものが掲載されています。内容は多岐に渡り高度なプログラミングの話から旅行記など MMA の活動の自由さが感じられるものとなっております。

さて遅くなりましたが、ここで改めまして新入生の皆さま御入学おめでとうございます。大学生と成られました皆々様には弊学らしい大学生活を送って頂きたいと思います。弊学の起源は大正 7 年に創設された社団法人電気協会管理無線電信講習所であることはご存知かと思われます。当時の貴重な遠方連絡手段として無線電信技術者の育成を行なってきました。弊学に入学されたのですから現代の生活に必要不可欠の存在となったコンピュータやネットワークの知識を身に付けてはどうでしょうか。もちろん入部しなくても、MMA では対外向けの講習会や CTF(Capture The Flag) の問題を公開しています。昨年度には CTF のコンテストを独自に開催しました。[*1]こうした活動を利用してもらい皆様の大学生活の一助となれば幸いです。

2016 年 4 月吉日

MMA

[*1] MMA CTF を 2015 年 9 月に開催

目次

第 1 章　たけのこの里 VS きのこの山　su_zu, i_takumi　1
1.1　それぞれの主張 1
1.2　たけのこコマンド 2
1.3　きのこコマンド 4
1.4　まとめ 6
1.5　感想 6
参考文献 6

第 2 章　国立国会図書館に行こう -閲覧編-　f_taka6　7
2.1　国立国会図書館とは 7
2.2　インターネット資料収集保存事業（WARP） 8
2.3　国立国会図書館東京本館 9
2.4　国立国会図書館国際子ども図書館 12
2.5　ついでに 15
2.6　最後に 16
参考文献 16

第 3 章　国立国会図書館に行こう -納本編-　f_taka6　17
3.1　納本制度 17
3.2　「MMA では毎年 2 回，百萬石という部誌を発行しています.」 18
3.3　納本方法 19
3.4　納本後 20
3.5　最後に 20
参考文献 20

第 1 章

たけのこの里 VS きのこの山

su_zu, i_takumi

概要
きのこ, たけのこ論争に決着をつけるべく, たけのこ派の su_zu, きのこ派の i_takumi が共同で制作した記事です.

1.1 それぞれの主張

たけのこ派の主張

- きのこが嫌い
- きのこの形が嫌い
- きのこの山はおかっぱ頭を連想するから嫌だ
- 型崩れしにくい
- 釘の代替物になりうる可能性があるから
- 里に人は住めるが山に人は住めないから

きのこ派の主張

- たけのこは尖っているから危ない
- つかみやすい, 汚れない
- 甘みと苦みのバランスがよい
- ハンマーとして使える
- マリオがきのこ好きだから
- 松茸が美味しいから

お互い主張をぶつけ合ったが議論は泥沼の様相を呈して部誌の締め切りが刻々とせまる····

お互いこのままではまずいという共通認識をもち一度休戦をして各々がきのこ, たけのこコマンドを制作することとなった.

1.2　たけのこコマンド

1.2.1　コード

ソースコード 1.1　takenoko.h

```
#define TAKENOKO1 " /‾  ＼"
#define TAKENOKO2 " L__  / ＼"
#define TAKENOKO3 "|  / ＼/ ＼"
#define TAKENOKO4 " L_/__/ ＼  ＼"
#define TAKENOKO5 "|   /  _／|"
#define TAKENOKO6 " L__/_／   ノ"
#define TAKENOKO7 "  ＼ _＿＿／"

#define TITLE_COLS_COUNT 91
#define TITLE1 "  _______        _  ________ _   _  ____  _  ______  _   _
    ____   _____       _______ ____  "
#define TITLE2 " |__    __|/\\   | |/ /  ____| \\ | |/ __ \\| |/ / __ \\| \\
    | |/ __ \\ / ____|   /\\|__    __/ __ \\ "
#define TITLE3 "    | |  /  \\  | ' /| |__  |  \\| | |  | | ' / |  | |  \\|
    | |  | | (___    /  \\  | | | |  | |"
#define TITLE4 "    | | / /\\ \\ |  < |  __| | . ` | |  | |  <| |  | | . ` |
     |  | |\\___ \\ / /\\ \\ | | | |  | |"
#define TITLE5 "    | |/ ____ \\| . \\| |____| |\\  | |__| | . \\ |__| | |\\ |
      | |__| |____) / ____ \\| | | |__| |"
#define TITLE6 "    |_/_/    \\_\\_|\\_\\______|_| \\_|\\____/|_|\\_\\____/|
    _| \\_|\\____/|_____/_/    \\_\\_|  \\____/ "
```

ソースコード 1.2　takenoko.c

```
#include <ncurses.h>
#include <locale.h>
#include <signal.h>
#include <unistd.h>
#include "takenoko.h"

int gizagiza(void);
void title(int);
void takenoko(int, int);

int main(){
    setlocale(LC_ALL,"");
    initscr();
    signal(SIGINT, SIG_IGN);
    noecho();
    curs_set(0);
    nodelay(stdscr, TRUE);
    leaveok(stdscr, TRUE);
    scrollok(stdscr, FALSE);
    for(int i=COLS-12;i>2;i--){
        erase();
        title(i%2);
        takenoko(i, gizagiza());
        refresh();
        usleep(50000);
    }
```

```
    endwin();
    return 0;
}

void takenoko(int x, int y){
    move(LINES/2-3+y, x);
    addstr(TAKENOKO1);
    move(LINES/2-2+y, x);
    addstr(TAKENOKO2);
    move(LINES/2-1+y, x);
    addstr(TAKENOKO3);
    move(LINES/2+y, x);
    addstr(TAKENOKO4);
    move(LINES/2+1+y, x);
    addstr(TAKENOKO5);
    move(LINES/2+2+y, x);
    addstr(TAKENOKO6);
    move(LINES/2+3+y, x);
    addstr(TAKENOKO7);
}

void title(int display_flg){
    if(display_flg)return;
    int x = (COLS-TITLE_COLS_COUNT)/2;
    move(0, x);
    addstr(TITLE1);
    move(1, x);
    addstr(TITLE2);
    move(2, x);
    addstr(TITLE3);
    move(3, x);
    addstr(TITLE4);
    move(4, x);
    addstr(TITLE5);
    move(5, x);
    addstr(TITLE6);
}

int gizagiza(){
    static int x;
    static int incflg;
    if(x>=LINES/5){
        incflg = 0;
    }else if(x<=-LINES/5){
        incflg = 1; }

    if(incflg){
        x++;
    }else{
        x--;
    }
    return x;
}
```

1.2.2　実行例

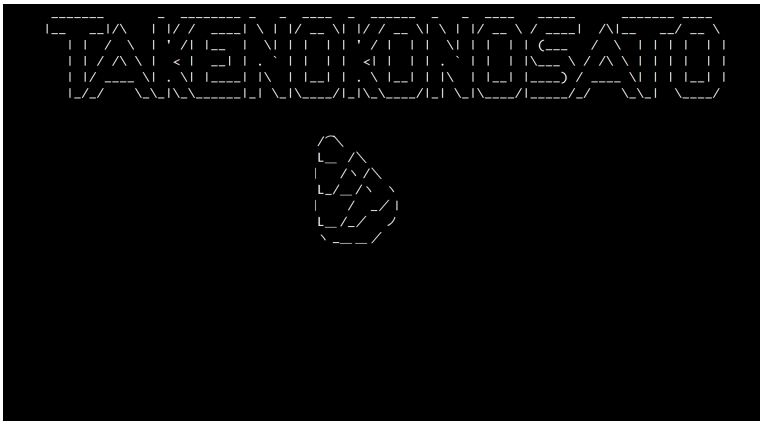

図 1.1　たけのこコマンド

「TAKENOKONOSATO」という文字が点滅をしながらたけのこが上下にギザギザしながら左に移動する, その間終了することはできない.

1.3　きのこコマンド

1.3.1　コード

ソースコード 1.3　kinoko.py language

```
#coding:utf-8
import curses, signal, time

def print_kinoko(height, width):
    """Print ascii art of kinoko no yama"""

    kinoko = ["      ___\n", "    /    \\n", "  // /    \ \n",\
    " (/   /    |\n", "  \_/    |  |\n", "  /  \__^^ef^^be^^89_ノ\n", \
    " /      /\n", "|    |\n", " \__ /\n"]

    for i, line in enumerate(kinoko):
        stdscr.addstr(int(height) + i, int(width), line)

def print_string(height, width):
    """Print ascii art of string"""

    string = [" _     _              _            _        "\
            "_   _              _              _    ", \
            "| |  (_)           | |          (_)     |"\
            " | | |           | |              | |  ", \
            "| | ___ _ __    ___ | | _____     _ ___   |"\
            " |_| |__    ___  | |__    ___  ___| |_ ", \
```

```
            "| |/ / | '_ \ / _ \| |/ / _ \   | / __| | "\
            "__| '_ \ / _ \ | '_ \ / _ \/ __| __|", \
            "|    <| | | | | (_) |    < (_) | | \__ \ | |"\
            "_| | | |  __/ | |_) |   __/\__ \ |_ ",\
            "|_|\_\_|_| |_|\___/|_|\_\___/  |_|___/  \_"\
            "_|_| |_|\___| |_.__/ \___||___/\__|"]

    for i, line in enumerate(string):
            stdscr.addstr(int(height) + i, int(width), line)

# Initialize curses and Return window object
stdscr = curses.initscr()

signal.signal(signal.SIGINT, signal.SIG_IGN)

print_string(0, 0)
print_kinoko(7, 0)
print_kinoko(7, 16)
print_kinoko(7, 32)
print_kinoko(7, 48)
print_kinoko(7, 64)
stdscr.getch()
time.sleep(3600)

# Terminate curses application
curses.nocbreak()
stdscr.keypad(False)
curses.echo()
curses.endwin()
```

1.3.2　実行例

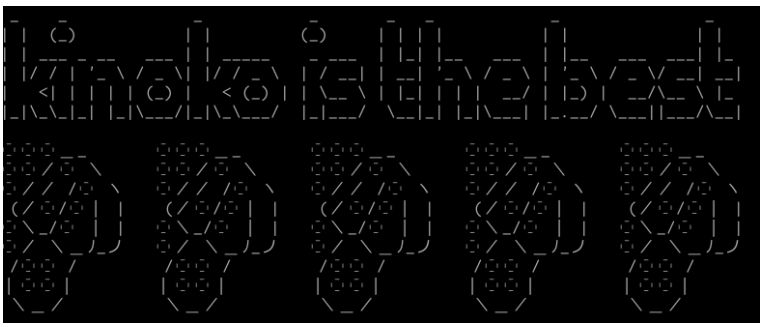

図 1.2　きのこコマンド

きのこの AA が表示され 1 時間終了することができない.

1.4　まとめ

最後にお互いのコマンドを見た時には最初のギスギスした雰囲気は消えお互いの良いところを認め合うようになった. 改めて平和の大切さを知ることができたような気がする.

1.5　感想

1.5.1　su_zu

よく考えるとどちらもウイスキーに合うのでたけのこ, きのこ両方大好きです.

1.5.2　i_takumi

僕は平和主義者なのでたけのこ派の皆様叩かないでください.

参考文献

[1] https://github.com/mtoyoda/sl

第 2 章

国立国会図書館に行こう -閲覧編-

f_taka6

概要
電気通信大学の利点のひとつは、東京都に存在することだと思う。
ということで、東京都にある便利な図書館「国立国会図書館」に行こうという話。

2.1 国立国会図書館とは

2.1.1 国立国会図書館の目的

- 「国立国会図書館は、真理がわれらを自由にするという確信に立つて、憲法の誓約する日本の民主化と世界平和とに寄与することを使命として、ここに設立される。」 (国立国会図書館法 前文)
- 「国立国会図書館は、図書及びその他の図書館資料を蒐集し、国会議員の職務の遂行に資するとともに、行政及び司法の各部門に対し、更に日本国民に対し、この法律に規定する図書館奉仕を提供することを目的とする。 」(国立国会図書館法 第二条)

などと謳われて、国会に国立国会図書館が置かれている。国立国会図書館の対国会議員・行政・司法に関する部分は私には関係が薄いので省くこととして、私にとっては「図書及びその他の図書館資料を蒐集し」「図書館奉仕を提供する」という部分が大切である。

2.1.2 蔵書

国立国会図書館が便利な図書館と言える最大の点は、日本国内の出版物のほぼ全てが所蔵されている点にある。これには、国立国会図書館法第二十四条・第二十四条の二・第二十五条・第二十五条の二で規定されている納本制度により、日本国内で出版された出版物は全て国立国会図書館へ納入することが義務付けられていることが大きい。

日本の現在の納本制度は、1948 年の国立国会図書館法制定より始まり、1949 年の改正で納本に対する代償金制度と民間出版物の納本に対して「文化財の蓄積及びその利用に資するため」という趣旨が定められた。これにより多くの出版物が国立国会図書館へ集まることになった。制度上は、1948 年以降の日本国内出版物の全てが国立国会図書館に所蔵されていることになっている。

しかし、1951 年の紙不足対策の用紙統制解除までの新聞出版割当事務庁への出版物納入義務や 1952 年のサンフランシスコ平和条約発効までの GHQ/SCAP による占領時の検閲のための出版物納本のために、この時期は国立国会図書館への納本がなされないことがあり、この時期の蔵書は実際よりも少なくなっている。[*1]この他にも所蔵されていない例があり、例えば前回の百萬石 2015 年秋号[*2]の部史で挙げた雑誌 I/O は、12,15,16,108 号が欠落している。また、1 巻 1 号から 2 巻 9 号までは復刻版での所蔵となっており、復刻時に削除したかのようなページ飛びが存在していた。[*3]

所蔵されているかの注意は必要だが、だいたい所蔵されているので、戦後の本は国立国会図書館に無いことを確認してから所蔵している所を探せば良いだろう。

現行納本制度による蔵書の他に、国立国会図書館設立時に継承した帝国議会の蔵書 (1890 年~) と帝国図書館 (1875 年~) の蔵書もある。帝国議会の蔵書には、帝国議会開設のために廃止された元老院の蔵書が移管されている。帝国図書館の蔵書には、出版条例 (1869 年)・出版法 (1893 年) による検閲のために監督官庁へ納本された出版物が交付されていた。この交付は、検閲が終了する 1945 年まで行われている。この蔵書は、検閲で事実上取り締まっていなかったものがあることと、帝国図書館で利用・保存の価値なしとされたものは 1 年で破棄されていることに、注意が必要となっている。なお、1875 年以前に蒐集された政府所蔵書籍は、1975 年に行われた図書館組織の管轄の移管時に組織だけ移管して蔵書を移管しなかったことにより、内閣文庫として国立公文書館にある。

一般の図書館とは異なり、基本的に蔵書の貸し出しは行われず、館内での閲覧と有料複写 (コピー) で対応する。

2.1.3　所在地

行政・司法機関にある支部図書館を除いて、国立国会図書館は次の施設がある。

- 東京本館 (東京都千代田区永田町 1-10-1)
- 関西館 (京都府相楽郡精華町精華台 8-1-3)
- 国際子ども図書館 (東京都台東区上野公園 12-49)

東京本館は広く所蔵しており、和図書と和雑誌の主たる所蔵館となっている。関西館は学術書や官庁出版物を中心に所蔵しており、小説・漫画等は基本的に所蔵していない。洋雑誌は関西館が主たる所蔵館となっている。国際子ども図書館は児童書・児童関連書籍を所蔵している。児童書や児童向け漫画は東京本館には無く、国際子ども図書館にあることがある。

2.2　インターネット資料収集保存事業（WARP）

電気通信大学 MMA が関係する国立国会図書館の事業では、インターネット資料収集保存事業（WARP）がある。この事業は、ウェブサイトに掲載されている安易に消去されやすい情報を保存し、未

[*1] 新聞出版割当事務庁へ納められた図書の一部は国立国会図書館へ移管・寄贈されている。
[*2] バックナンバーはこちらで閲覧可能 `https://wiki.mma.club.uec.ac.jp/Booklet`
[*3] I/O 書誌情報 `http://id.ndl.go.jp/bib/000000032233`

来に残そうとする事業であり、国立国会図書館法第二十五条の三に基づいて行われている。対象として国、地方公共団体、独立行政法人、国立大学法人等が挙げられており、電気通信大学も対象となっている。

次の WEB サイトにより電気通信大学の WEB サイトは国立国会図書館によって収集されていることが分かる。

- 電気通信大学｜国立国会図書館インターネット資料収集保存事業 `http://warp.da.ndl.go.jp/waid/2149`

2009 年 05 月までの記録は国立国会図書館外でも見ることができるが、2010 年 05 月以降の記録は国立国会図書館内でのみ閲覧可能となっている。2009 年 5 月のページだけでも 2010 年度募集開始 2015 年度募集停止の情報理工学部新設時の謳い文句が見れて面白いが[*4]、国立国会図書館に行けば年度ごとに消されてしまう WEB サイト上の情報も閲覧することができて役に立つ。

この収集対象について、現在は “`www.uec.ac.jp`” からのリンクを辿って閲覧できる “`uec.ac.jp`” のドメインの WEB サイトとなっているらしく、電気通信大学 MMA の WEB サイトも用いている電気通信大学公認サークル向けドメイン “`club.uec.ac.jp`” や学友会向けドメイン “`gakuyukai.uec.ac.jp` なども” 当然のごとく収集されているので、下手なことを “`uec.ac.jp`” の下で公開すると、消した後も国会図書館内の情報として生き続けるので注意した方がいい。[*5]

2.3　国立国会図書館東京本館

建物の写真はうまく撮れなかった (図 3.3)。東京本館は本館と新館で構成されている。利用者入口の東

図 2.1　国立国会図書館東京本館 手前が本館 奥が新館 2015 年 10 月 28 日撮影

口は 2 階で、利用者は本館と新館を 2 階の連絡通路で行き来できる。日本国内の小説・漫画等は児童向

[*4] `http://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/232987/www.uec.ac.jp/ies/new_faculty/`

[*5] 大学本部は、大学公認サークル WEB ページについて、その WEB ページが大学公認サークルのものと明確にする目的から、“`club.uec.ac.jp`” ドメインへの移行を進めていたはずなので、収集対象が増える気がしている。

けと判断されたものを除いてこの本館にあるので、ただ何となくふらっと寄って適当な小説・漫画を読もうとするなら適している。多くの資料は閉架 (職員に書庫からとってきてもらう)。日曜祝日・第三水曜日・年末年始が休館日。

2.3.1　アクセス

図 2.2 がその周辺地図となる。国土地理院・地理院地図を加工して作成した。国立国会図書館東京本館は、国会の図書館であるので、国会議事堂の参議院側に道を挟んで向かいに在る。最寄りの交通機関は、東京メトロ有楽町線「永田町駅」2 番出口から徒歩 5 分、東京メトロ半蔵門線・南北線「永田町駅」3 番出口から徒歩 8 分、東京メトロ千代田線・丸の内線「国会議事堂前駅」1 番出口から徒歩 12 分、都営バス橋 63 系統「国会議事堂前停留所」より徒歩 5 分と案内されている。

電気通信大学から東京本館へ向かう場合は、次のような経路がある。

1. 調布駅から京王線新宿方向特急・準特急に乗り、明大前駅で京王井の頭線渋谷方向急行に乗り換え、渋谷駅で東京メトロ半蔵門線押上方向に乗り換え、永田町駅で下車 (58 分・402 円 (PASMO 等利用時))
2. 調布駅から京王線新宿方向都営新宿線直通に乗り、市ケ谷駅で東京メトロ有楽町線新木場方向に乗り換え、永田町駅で下車 (56 分・506 円 (PASMO 等利用時))

2.3.2　利用方法

入館資格は満 18 歳以上ということのみ。18 歳未満は地元の図書館を使うことを案内されている。[*6]

初めて入館する場合は、本人確認書類を用意し、入口手前にある案内に従い新館入口にある利用者登録カウンターで、登録申請書に必要事項を記入し提出して、登録利用者カードを得る必要がある。登録利用者カードがある場合は、新館と本館のどちらの入口からも入ることができる。

入館前に鞄やカメラなどの持ち込めないものはコインロッカー (要 100 円玉・帰るときに返却される) に入れ、筆記用具やラップトップなどの持ち込みたいものは透明なビニールバッグに入れて、登録利用者カードをゲートにかざして入館する。

館内にはたくさんの端末があるので、それで閲覧する資料の利用申請を行う。資料がカウンターに届いたことは端末で確認できる。届いたときは、本館 2 階図書カウンターか新館 2 階雑誌カウンターの指定された方で登録利用者カードを渡して確認された後に受け取り、席で閲覧する。閲覧を終えたときは、カウンターに資料を返却する。閲覧したい資料がデジタル化されていた場合、この端末で閲覧をおこなうことになる。デジタル化された資料は実物での閲覧は行われない。また、インターネット資料収集保存事業の館内限定 WEB ページもこの端末で閲覧することができる。

複写を行うときは、端末から印刷機で申込書を印刷し、申込書にページを記入し、調査研究目的のとこ

[*6] よくある質問:満 18 歳未満の人はどのようにしたら利用できますか？ `http://www.ndl.go.jp/jp/help/services.html#anchor02`

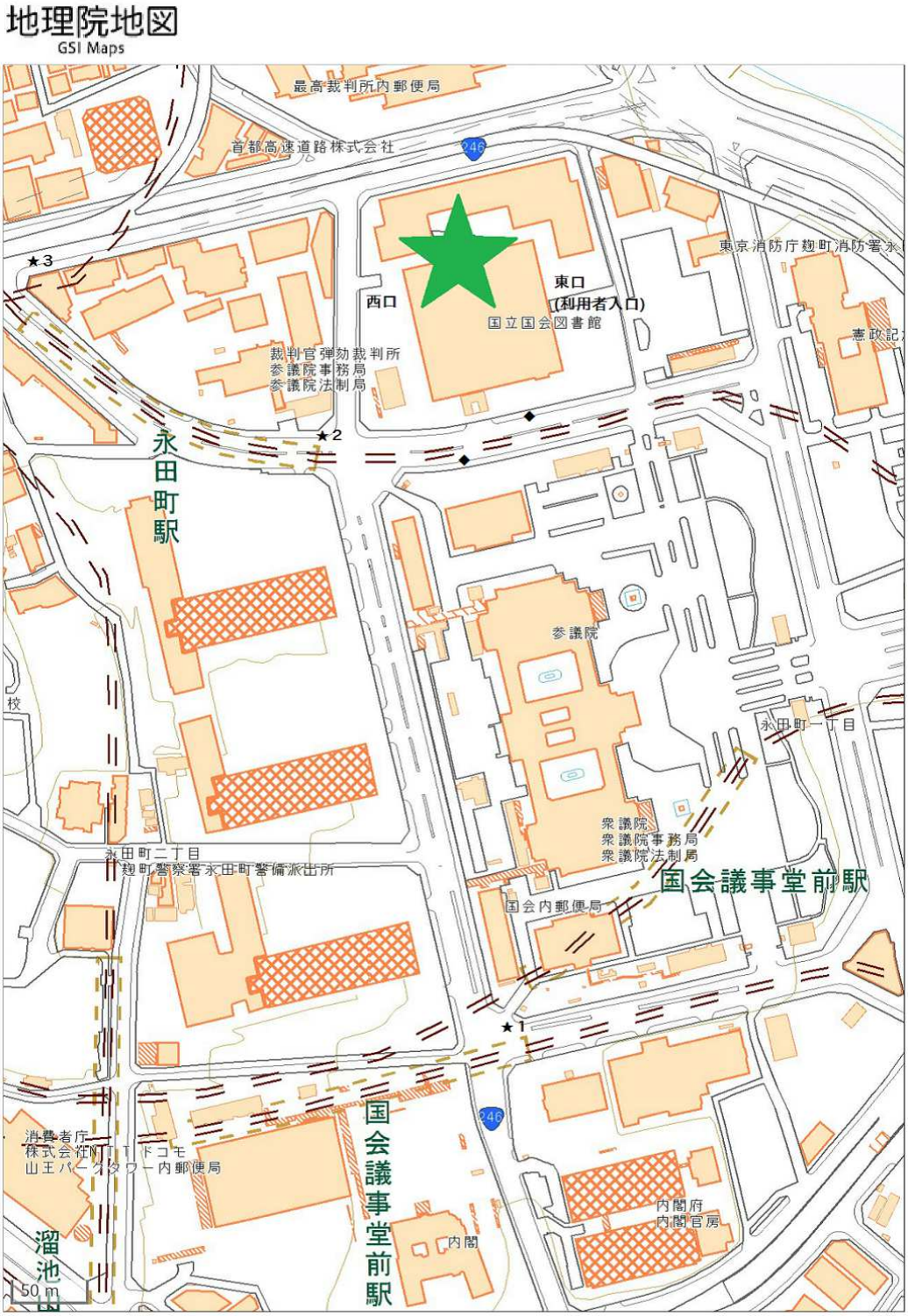

図 2.2　東京本館周辺地図 緑★が東京本館 ★ n が東京メトロ駅 n 番出口 ◆が都営バス停留所 東口が利用者入口となる

ろをチェックし[*7]、資料の当該ページに印刷機周辺においてあるしおりを挟み、登録利用者カードとともに複写カウンターに提出する。即日複写の場合は、複写物を受け取るときに料金を支払う。後日複写の場合は、送られてきた複写物に振込先についての書類が含まれているので、それに従って支払う。後日複写の場合は発送事務手数料と送料がかかるため、即日複写よりも高くなる。デジタル化された資料の場合は、端末上で印刷範囲を設定し、申請を行う。その後、デジタル化資料印刷専用の窓口で登録利用者カードを渡し、印刷したものを受け取り料金を支払う。

2.3.3　その他

本館 6 階に食堂と売店、本館 3 階と新館 1 階に喫茶があるので、外に出ずに長く居座れる。館内撮影禁止なのに食べログに写真があるのはツッコミ待ちなのだろうか。[*8]一部の場所以外は飲食 (飲水含む) 禁止なので注意。

時間が無くて見ることができなかったが、科学技術・経済情報室や議会官庁資料室、新聞資料室、地図室などの専門室もあり利用することができる。古典籍資料室, 憲政資料室, 音楽・映像資料室以外の専門室では利用申請は必要ない。

新館閲覧室では無線 LAN が使用可能。

2.4　国立国会図書館国際子ども図書館

建物は改装中であったので少し残念 (図 2.3)。建物は 1906 年に建てられ 1929 年に増築された帝国図

図 2.3　国立国会図書館国際子ども図書館 2016 年 03 月 31 日撮影

書館の建物が利用されている。2015 年に既存の建物 (レンガ棟) の裏手に新館 (アーチ棟) を増改築した。名前の通り児童書専門図書館で、18 歳未満の利用も可能。児童書の定義は分からないが、

[*7] 複写物の使用目的は調査研究や裁判に限られているそうだが、大抵のことは調査研究と言うことができると思う。

[*8] `http://tabelog.com/tokyo/A1308/A130801/13116042/`

- 「涼宮ハルヒの憂鬱」(谷川流・角川スニーカー文庫) は東京本館。http://id.ndl.go.jp/bib/000004166200
- 「涼宮ハルヒの憂鬱」(谷川流・角川つばさ文庫) は子ども。http://id.ndl.go.jp/bib/000010269423
- 「ABCDEFG 殺人事件」(鯨統一郎・理論社ミステリー YA!) は子ども。 http://id.ndl.go.jp/bib/000009369186
- 「堀アンナの事件簿： ABCDEFG 殺人事件」(鯨統一郎・PHP 文芸文庫) は東京本館。 http://id.ndl.go.jp/bib/023600713
- 「名探偵コナン」(青山剛昌・小学館少年サンデーコミックス・週刊少年サンデー連載) は東京本館。http://id.ndl.go.jp/bib/000002339577
- 「名探偵コナン 特別編」(青山剛昌原案・小学館てんとう虫コミックス・小学四年生他連載) は子ども。 http://id.ndl.go.jp/bib/000002562934
- 「ポケットモンスター SPECIAL」(日下秀憲シナリオ・小学館てんとう虫コミックススペシャル・小学四年生他連載) は子ども。 http://id.ndl.go.jp/bib/000002605637
- 「ポケットモンスター SPECIAL Ωルビー・αサファイア」(日下秀憲シナリオ・小学館てんとう虫コミックス・クラブサンデー連載) は子ども。 http://id.ndl.go.jp/bib/026592971

といったように分かれていたので、児童向けもしくはヤングアダルト[*9]向けと銘打っているレーベルは国際子ども図書館にあると思われる。メディアファクトリーのプレスリリースに依れば「中高生向けの「ライトノベル」」[*10]という建前になっているが、ライトノベル系レーベルは東京本館でヤングアダルト系レーベルは国際子ども図書館に置かれている。「ズッコケ中年三人組」(那須正幹) の 1 巻[*11]のように、東京本館と国際子ども図書館の両方に置かれているものもあった。但し、このシリーズで両方に置かれているのは 1,4 巻のみで他は東京本館のみとなっている。児童書専門図書館なので、開架 (自分で本をとる) の部屋が多い。5 月 5 日 (こどもの日) を除く祝日・月曜日・第三水曜日・年末年始が休館日。

2.4.1　アクセス

図 2.4 がその周辺地図となる。国土地理院・地理院地図を加工して作成した。公式 WEB ページでは JR 上野駅公園口から徒歩 10 分と案内されているが、JR 鶯谷駅からも歩いて行ける。

電気通信大学から東京本館へ向かう場合は、調布駅から京王線新宿方向特急・準特急に乗り、新宿駅で JR 山手線外回り (池袋駅方向) に乗り換え、上野駅 (もしくは鶯谷駅) で下車する。(59 分 (上野駅)/57 分 (鶯谷駅)・431 円 (PASMO 等利用時))

[*9] 13 歳から 19 歳程度

[*10] 「「あの頃はアニメやゲームに夢中だったな」そんなオトナに捧げる！ 新エンタメ小説「ＭＦブックス」創刊」http://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000222.000007006.html

[*11] ズッコケ中年三人組 http://id.ndl.go.jp/bib/000008042615

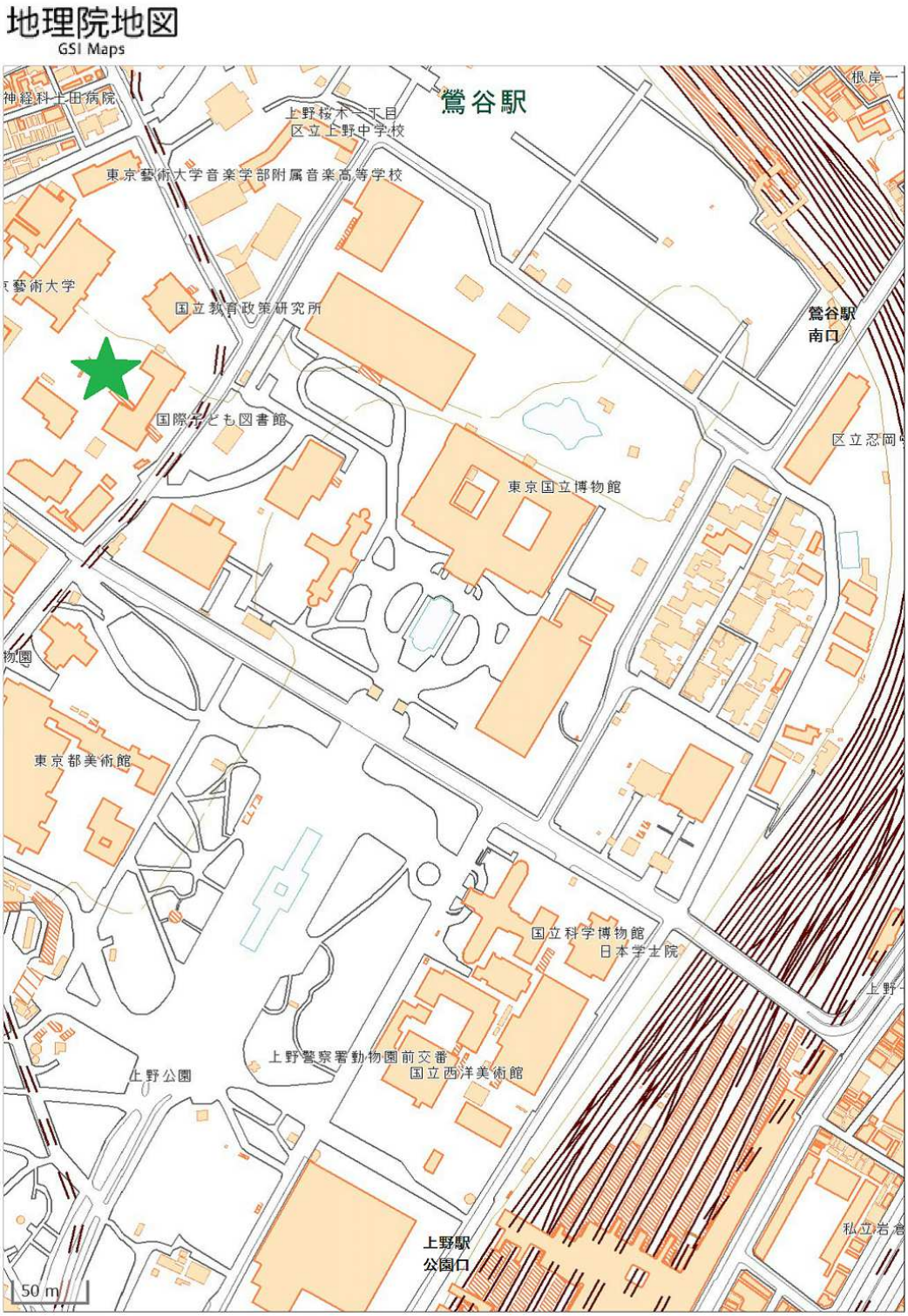

図 2.4　国際子ども図書館周辺地図 緑★が国際子ども図書館

2.4.2　利用方法

誰でも自由に入館することができ、利用者登録や荷物を預ける必要もない。小学生以下の子どもを主な対象として本を置いてある子どものへやや中高生の調べもの学習を想定した調べものの部屋などの、児童を対象とした部屋がある。私が訪ねたときは、子どものへやは親に連れられた子で盛況であったが、調べものの部屋は人が少なくてちょうど良い環境であった。他に、児童書ギャラリーという日本の児童文学と絵本史を実際の本とともに展示している部屋や、本のミュージアムという児童書に関する展示会を行う部屋が存在した。訪ねたときに本のミュージアムでは、外国語から翻訳された児童書についての展示が行われていた。

児童書研究資料室という部屋もあり、ここは東京本館と同様に入る前に荷物をコインロッカーに預け、登録利用者カードを用いて入室する部屋であった。児童書や最新の教科書が展示してあり閲覧することができた。東京本館と同じ端末も設置されており、同様に閉架の資料の閲覧申請や複写申請ができる。また、デジタル化されている資料やインターネット資料収集保存事業の WEB ページは、東京本館と同様に閲覧できる。

2.4.3　その他

国際子ども図書館にはカフェテリアが存在し、軽食をとることができる。入館に利用者登録が必要ないためか、狭い空間に人が多く混雑していた。

2.5　ついでに

国際子ども図書館がある台東区上野公園には、国立科学博物館上野本館もある (図 2.5)。2015 年度は、

図 2.5　国立科学博物館 2015 年 3 月 31 日撮影

国立科学博物館大学パートナーシップに電気通信大学が入会していたため、常設展の入館料が無料となり、特別展は 620 円引きで入館できたらしい。2016 年度も入会しているかは記事を書いている時点では

分からないので、確認する必要がある。

私が国際子ども図書館の後に寄ろうとしたときは、最終入館時刻の 16:30 を過ぎていたため入れなかった。

- “国立科学博物館の優待制度｜電気通信大学” http://www.uec.ac.jp/campus/welfare/museum_partnership.html
- “大学パートナーシップ :: 国立科学博物館” http://www.kahaku.go.jp/learning/university/partnership/index.html

2.6 最後に

環境を活かして、使えるものは使おう。国立国会図書館に行こう。

参考文献

[1] “国立国会図書館—National Diet Library”, 2016 年 03 月 27 日閲覧 http://www.ndl.go.jp

[2] “国立国会図書館法” 法令データ提供システム, 2016 年 03 月 27 日閲覧 http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S23/S23HO005.html

[3] 鈴木宏宗 (2011),「国立国会図書館の和図書」,『国立国会図書館月報』600 号 (2011 年 3 月), pp.20-29, 社団法人日本図書館協会 http://www.ndl.go.jp/jp/publication/geppo/2011.html

[4] “国立国会図書館インターネット資料収集保存事業（WARP）について｜国立国会図書館インターネット資料収集保存事業”, 2016 年 03 月 27 日閲覧　http://warp.da.ndl.go.jp/info/WARP_Intro.html

[5] “地理院地図” 国土地理院, 2016 年 03 月 31 日閲覧 http://maps.gsi.go.jp

第 3 章

国立国会図書館に行こう -納本編-

f_taka6

概要

国立国会図書館法第二十五条によれば、出版物を発行したときは、最良版の完全なもの一部を国立国会図書館に納入、寄贈若しくは遺贈しなければならないらしい。

3.1 納本制度

国立国会図書館の蔵書の根幹である納本制度とは、次のいずれかに該当する出版物（機密扱いのもの及び書式、ひな形その他簡易なものを除く。) を出版したときに必ず国立国会図書館に納入するという制度である。

1. 図書
2. 小冊子
3. 逐次刊行物
4. 楽譜
5. 地図
6. 映画フィルム[*1]
7. 前各号に掲げるもののほか、印刷その他の方法により複製した文書又は図画
8. 蓄音機用レコード
9. 電子的方法、磁気的方法その他の人の知覚によつては認識することができない方法により文字、映像、音又はプログラムを記録した物

日本の納本制度は国立国会図書館法に定められており、国の諸機関については第二十四条で、地方公共団体の諸機関については第二十四条の二で、その他の者については第二十五条に規定がある。納本制度の目的は、官庁の出版物に対しては「公用又は外国政府出版物との交換その他の国際的交換の用に供するため」、民間の出版物に対しては「文化財の蓄積及びその利用に資するため」となっている。また、第二十

[*1] 映画フィルムについては、国立国会図書館法による出版物の納入に関する規程 (国立国会図書館規程)[4] 第七条によって当分の間は納入が免除されている。

五条の二では、その他の者が納本しなかった場合に、その出版物の小売価額（小売価額のないときはこれに相当する金額）の五倍に相当する金額以下の過料 (刑罰の科料ではない) に処すると定められているが、実際に適用された事例は無いらしい。

他に、日本の納本制度には代償金制度があり、点字版以外の図書の場合は小売価格の 4 割以上 6 割未満の金額と郵送に要する最低の料金に相当する金額 [5] が納本した者に代償金として交付されている。[*2]

3.2　「MMA では毎年 2 回，百萬石という部誌を発行しています.」

(`https://wiki.mma.club.uec.ac.jp/Booklet` より引用)」

電気通信大学 MMA が発行しているこの『百萬石』は納本しなければならない書籍なのか？

「`Q&A`—企業・団体、個人」[3] には、「原則として、頒布を目的として相当部数作成されたすべての出版物です。図書、雑誌・新聞だけでなく、CD、DVD、ビデオ、レコード、楽譜、地図なども対象となります。また、社史・団体史等の自費出版でも、相当の部数を作成し配布されているものは納本の対象となります。ただし、ホチキス止めなど簡易綴じのもの、広く一般に公開することに支障があるものなどは、納本の対象とはなりません。」とある。ただし書きの「ホチキス止めなど簡易綴じのもの」が「書式、ひな形その他簡易なもの」に、「広く一般に公開することに支障があるもの」が「機密扱いのもの」に当たると解釈した。MMA が普段発行している『百萬石』を見てみると (図 3.1)、創刊号から近年のものに至る

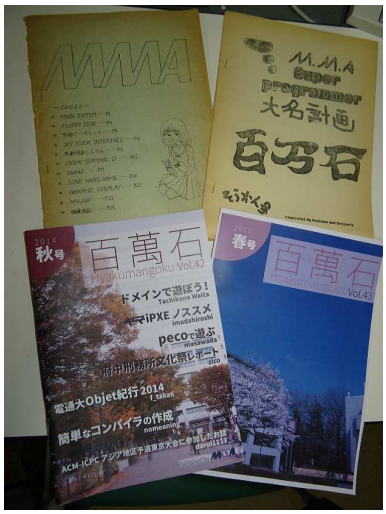

図 3.1　『百萬石』など 左上・1978 年調布祭パンフレット 右上・1989 年号 (創刊号) 左下・2014 年秋号 右下・2015 年春号 2015 年 10 月 21 日撮影

図 3.2　『百萬石』2013 年夏号 2015 年 10 月 21 日撮影

[*2] ちょうど私が納本した時期に発生した「亞書騒動」は、意味の理解できない内容で高額で販売実体が不明な書籍は、この代償金目当てであったのではないかという疑惑であった。[9][10]

まで、明らかにホチキス止めした冊子であるので、これは納本対象となっていない。[*3]

そこで、部室の書棚の上の段ボール箱の中に残っていた、コミックマーケット 84 に参加して頒布した 2013 年夏号[*4](図 3.2) を引っ張り出して納本することにした。この号は、私が知る中で唯一の外部の業者に委託して製本してもらった『百萬石』で、コミックマーケットで頒布したということもあり、納本条件を確実に満たしている。

3.3　納本方法

納本の方法には国立国会図書館東京本館の国立国会図書館収集書誌部国内資料課収集第一係に送付する方法もあるが、今回は直接持参する方法をとった。直接持参する場合でも、納本の受付は東京本館でしか扱っておらず、関西館では受け付けていないらしい。2015 年 10 月 28 日に納本を行い、1 部で十分だが 2 部納めると東京と関西の 2 箇所に所蔵するそうなので、2 部納本した。行き方は閲覧編を参照。納本

図 3.3　国立国会図書館東京本館西口 2015 年 10 月 28 日撮影

を行う場合は、西口から入ることになる。次のように納本は淡々と進んだ。金銭の授受はめんどくさいので、寄贈という形式にして代償金は受け取らない方法にした。

1. 西口入口の受付で納本する旨を言い、入館簿に入館証番号名前行き先時間目的を書き、クリップで胸元に止める入館証をもらう。
2. 納本受付にて書類に記入する (書名・発行者など)。
3. 雑誌かどうか尋ねられて、雑誌と答える。
4. 広く頒布をしたか尋ねられて、コミックマーケットで頒布したと答える。
5. 他にバックナンバー等があるか尋ねられて、普段はコピー本なので納本できるバックナンバー等は無いと答える。

[*3] ホチキス止めコピー本でも納本 (寄贈) されてた例はあるが、業者がきれいに作成していた。[8]
[*4] そして WEB ページ上で 2016 年 3 月現在バックナンバーとして配信されていない。

6. 将来的にこのような製本された本にするか聞かれて、不明と答える。
7. 受け取られる。

3.4　納本後

2015 年 12 月上旬に国立国会図書館から 11 月 27 日付のお礼状が届き、12 月 04 日には国立国会図書館サーチに情報が登録されているのを確認した。現在は出版年が 1989 年になっているが、このときは 1900 年 (=出版年不明) となっていて、注記事項もあまり書かれていなかったように記憶している。12 月 22 日の時点で、注記事項に「本タイトルは「百萬石」「Hyakumangoku」「新歓パンフ」等のこともあり」などという、電気通信大学 MMA の WEB ページを見て記載したと思われる文章が追加されていた。

- “百万石 (電気通信大学 MMA): 1989 ｜書誌詳細｜国立国会図書館サーチ” `http://iss.ndl.go.jp/books/R100000002-I026814638-00`
- “NDL-OPAC - 書誌情報”「百万石」 `http://id.ndl.go.jp/bib/026814638`

3.5　最後に

ということで、電気通信大学 MMA が『百萬石』を発行していたということが、後世に残ることとなった。

電気通信大学のサークルで簡単に蔵書検索して出てくるのは、SF-Z 会さんの「エアストリップ 2 号 : 「ディストピア」を知るべし : ディストピア文学作品集」[*5]と、TeRes さんが参加している「JuCubox-mechanical-」という CD[*6]ぐらいでしたが、やったことの痕跡が確実に残るので、何か発行している人は国立国会図書館に納本をしよう。

参考文献

[1] “国立国会図書館—National Diet Library”, 2016 年 03 月 27 日閲覧 `http://www.ndl.go.jp/`

[2] “国立国会図書館法” 法令データ提供システム, 2016 年 03 月 27 日閲覧 `http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S23/S23HO005.html`

[3] “納本制度｜国立国会図書館—National Diet Library”, 2016 年 03 月 27 日閲覧 `http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/deposit/deposit.html`

[4] “国立国会図書館法による出版物の納入に関する規程” 国立国会図書館規程, 2016 年 03 月 27 日閲覧 `http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/laws/pdf/a4101.pdf`

[5] “国立国会図書館法第二十五条の規定により納入する出版物の代償金額に関する件” 国立国会図書館告示, 2016 年 03 月 27 日閲覧 `http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/laws/pdf/a4105.pdf`

[*5] `http://id.ndl.go.jp/bib/026011170`
[*6] `http://id.ndl.go.jp/bib/023637063`

[6] 久樹輝幸 (2010), “同人誌は Amazon よりも先に国会図書館に納本する義務があるよという話 - 雑念雑記はてな出張所”, 2016 年 03 月 27 日閲覧 http://d.hatena.ne.jp/amateru/20100323/1269360414

[7] 玉置豊 (2012), “国会図書館に自主制作した本を納本してみた” 地球のココロ, 2016 年 03 月 27 日閲覧 http://chikyu-no-cocolo.cocolog-nifty.com/blog/2012/11/post-1647.html

[8] 斉藤ハゼ (2015), “自分のつくった同人誌が知らないうちに国会図書館にあった件 - ふんどしくわえたやまいぬ・新館”, 2016 年 03 月 27 日閲覧 http://hazeinheart.hatenablog.jp/entry/2015/11/03/031259

[9]「国立国会図書館、高額本７８冊納本の出版社に代償金１３６万円　印刷費用など資料提出求めず」, 産経ニュース, 2015 年 11 月 02 日 06:50 配信, 2016 年 03 月 27 日閲覧 http://www.sankei.com/affairs/news/151101/afr1511010023-n1.html

[10]「国立国会図書館、「亜書」発売元に代償金１３６万円返還求める　高額本納本問題」, 産経ニュース, 2016 年 02 月 02 日 21:30 配信, 2016 年 03 月 27 日閲覧 http://www.sankei.com/affairs/news/160202/afr1602020051-n1.html

百萬石 2016 -春- © 電気通信大学 MMA

2016 年 4 月 6 日　初版第一刷発行　【本書の無断転載を禁ず】

著　者　f_dita, su_zu, i_takumi, f_taka6
表　紙　g_nootoko
編集者　benevolent0505
発行者　電気通信大学 MMA
発行所　電気通信大学 MMA 部室
〒182−8585 東京都調布市調布ヶ丘 1−5−1 サークル会館 208 号室
http://www.mma.club.uec.ac.jp/
印刷所　電気通信大学 MMA 部室
製本所　電気通信大学 MMA 部室

電 気 通 信 大 学